

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	学習方法の工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

校 種	種 目	第 1 推 薦	第 2 推 薦
小学校	算 数	2 東書	17 教出

各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	単元の導入で、単元全体に関わる焦点化した問題を提示し、少ない課題でじっくり考えさせるようにしている。 単元間に「おぼえているかな？」を設け、既習事項を確認するページが用意されている。 また、練習問題が適量で、理解の定着をしっかりと行うことができる。 特設ページ「ふりかえりコーナー」で、学習内容が簡潔に整理され、復習できるようになっている。
	観点 2	「算数の目で見よう」という社会的な事象を数学的に解釈する問題を取り入れている。 また、生活や社会でのデータを用いて、グラフや関数の問題にし、生活に活かすように仕組んでいる。
	観点 3	単元末の「しあげ」の右側注に質問方式で、単元の中での学習内容の重要な知識や技能、考え方に気付くように構成されている。
	観点 4	全体の色使い、文字の大きさ・太さ、色等に工夫があり、分かりやすい。特に図や数直線の線が若干太く強調されており、大事な式や考え方、問題を枠で囲み、分かりやすい。 デジタルコンテンツがホームページ上にある。
	観点 5	特設ページ「算数マイノートをつくろう」の見開き 2 ページを 2 箇所 に設け、実際のノートを例示し、書き方の工夫（書くと良い項目）や感想の視点を別に明確にして表記している。 単元間に設けてある「考えよう伝えよう」には「図や式など算数的な表現を用いて書く」、「説明しよう」、「話し合おう」という言語活動例が示されている。
4 大日本	観点 1	「文字を使った式」の単元では、図形の求積を導入問題とし、学習の主題が分かりにくく学習の見通しを立てにくい。 5・6年生の巻末に「チェックアンドトライ」という前学年の内容の定着を図る問題が用意されている。
	観点 2	学習のはじめに生活の事象が取り上げられており、学習問題もスポーツな

		<p>ど児童が興味を持ちそうな話題が使われている。</p> <p>また、「算数玉手箱」という社会的な事象を数学的に解釈する問題を取り入れている。</p>
	観点3	<p>問題を提示後、ページをめくらないと解決方法や答えが見えない構成となっており、既習内容をもとに問題の解決を図る学習活動を充実させやすい。考え方や理由を書き込むスペースがふんだんに用意されており、個人思考や表現の場を設定している。</p> <p>すべての学年で通年1冊になっており、振り返りがしやすい。</p>
	観点4	<p>文字や絵図が小さめで、紙質のためか発色が悪く紙面にメリハリがない。</p> <p>1時間で学習する内容の見通しが持てる印（葉っぱ）を示している。</p> <p>デジタルコンテンツもあり、HP 上で見ることができる。</p>
	観点5	<p>特設ページ「算数の学び方」の見開き2ページを教科書のはじめの方に設け、実際のノートを例示している。ノートの書き方のポイントは3点のみ。むしろ学習の進め方を重点的に記している。</p>
11 学図	観点1	<p>「学びの準備」という既習事項を確認するページが用意されている。</p> <p>1時間の指導内容が精選されており、ゆとりがある反面、練習問題が少なく、理解の定着が図りにくい面がある。</p>
	観点2	<p>単元間に「チャレンジ算数を使おう」のコーナーがあり、生活の中で学習したことをつかって問題解決型の学習が設定できるようになっている。</p>
	観点3	<p>6年生に別冊の「中学校へのかけ橋」があり、前半は復習、後半は中学校の数学に体験的に触れさせる工夫がある。</p>
	観点4	<p>色鮮やかな写真であり、絵図等にも立体感がある。3学年の「表とグラフ」の資料に、教科書の右下隅に様々な車の写真が掲載されている。「正」の字で集計する学習の必要性を体感できる。</p>
	観点5	<p>特設ページ「ノート名人になろう」を1ページ設け、実際のノートを例示し指導のポイントを簡単に説明しているが、情報量が不十分である。</p> <p>教科書冒頭に「算数でよく使う考え方」として、類推・帰納・演繹などの考え方の具体例を示して説明している。</p>
17 教出	観点1	<p>各単元にある適用問題、練習問題が厳選されており、理解の定着をしっかりと行うことができる。</p> <p>特設ページ「学びのマップ」（5・6年）で、既習事項の復習ができるようにしている。</p>
	観点2	<p>単元末のまとめで、4コマ漫画で振り返らせ、復習への意欲・関心を高めている。単元末で「学んだことを使おう」という活用する問題を取り入れている。</p>
	観点3	<p>単元名のみでの記載で、単元のめあてが記載されていない。</p> <p>学年初めに、授業びらき用の教材が用意され、学習の流れが示されている。</p> <p>ページ下のトピック「よくあるまちがい」の記述は児童の実態をとらえており、主体的な学習につながる。</p> <p>家庭学習問題「ステップアップ算数」は単元ごとに、「きほんの問題」と「レベルアップを問題」が設けてあり、主体的に学習できるようになっている。</p>

	観点4	キーワードが赤字で示されており，分かりやすい。余白が十分にあり，1ページ全体が見やすく，無理に開く必要がなく扱いやすい。
	観点5	特設ページ「学びの手引き」として「友だちのノートを見てみよう」を設け，実際のノートを例示しているが，ノートづくりのポイントが分かりにくい。
61 啓林館	観点1	1時間1ページの学習の構成の中では，練習問題が少なく見えるが，巻末の「もっと練習」で練習問題が確保されており，個別に対応できる。 「算数アスレチック」という，学習した内容を再確認するページが，節目節目に設けられている。
	観点2	課題提示の際に，大胆に紙面を使用しているが，問題意識の高揚には効果的とはいえない。 「算数実験室」「読み取る算数」「わくわく算数学習」など，トピックスが多く入っているが，問題の量や種類が多い。
	観点3	1単位時間1ページの学習の構成であり，1ページずつに適用問題を配置するようにし，習得の状況の評価できるようにしている。 5学年の面積の学習では，三角形→平行四辺形の順で進める構成となっている（他社は逆）。
	観点4	写真が少なく，絵に統一感がない。 表紙の表裏の絵に算数的な意味を持たせ，工夫している。 入門期において，「5」のかたまりで捉えさせるので「10」のかたまりで捉えることにつながりにくい。大きい数の図示が数え棒になっている（他社はタイル図）。
	観点5	特設ページ算数資料集 考えがよく分かる「わくわく算数ノート」を設け，二つのノートを比較し，よいノートにするポイントを説明している。 巻末の算数資料集は，色分けされており，活用しやすい。
116 日文	観点1	側注は，補足やヒントなど工夫されているが情報量が多い。 巻末に「算数マイトライ」という習熟度に応じて難易度の異なる自力解決のための問題が用意されている。
	観点2	生活や社会に関連付けた内容「いち・に・算活」を単元間に取り上げ，学習したことを実際の場面に活かすことで学ぶ意欲につなげている。 巻末付録の資料が，切り取って随時使用できる。
	観点3	横長 AB 版紙面は，机上の占有面積が大きく，他の作業ができにくい面がある。 絵や図，言葉，式などの相互の関連を整理したり図を使いこなしたりするためのページが「よみとろう あらわそう」として設けられている（2年生以上）。巻末ではなく，単元間に設けられ，具体的な例題とリンクしている。
	観点4	6人の児童が吹き出しや考えの提示などで学習を進めたり，深めたりする役割を果たしている反面，児童に提供する情報量が多くなり過ぎる面がある。 デジタル教科書の用意がある（要購入）。
	観点5	問題番号にあるコメント「どうしてがいえるかな」や右側注のコメント「もう一度考えよう」，特設ページ「活用」等において，考え方を言語化させる場を設定している。

